

4 当時「南京の死者2万人」と中国は「国際連盟」で演説していた

が、まさにゲスの勘繰りで、「忬度」などではまったくなく、

では実際、なぜ柳沢発言の報道を、「自粛」したのか。ゲスの勘繰りとは何ごとか。NHKに質すと、『メモ』については「お答えを控えさせていただきます」としたうえで、「産む機械」というのは女性を傷つけ、不快感を与え、

母えるという理由で問題になつた言葉そのもの」であるため、使用をやめようとの趣旨の発言が今井主幹から会議の場でなされた、との説明が返ってきた。

NHK幹部は苦笑する。「朝日としては、うちの番組改変に政治家からの圧力があつたと噛み付きながら、結局は事実を明らかにでき

なかつた。その意趣返しを記事で果たしたという思いなのでしよう。けれど、うちも品がない。『メモ』にゲスの勘繰りなどという発言を残したのは意図的です。朝日の記者が手に入れて目にするのを見越してのことなんですからねえ」

これぞゲスな争い。そう言われても仕方あるまい。

新聞は報じなかったが、2月21日の衆議院内閣委員会で、南京事件に関する画期的な資料が明るみに出た。なんでも、1938年2月、国際連盟で中国政府代表が、「南京の死者は2万人」と演説していたというのである。虐殺30万人とは、まさしく虚構。

殺されたと主張している。その主張を覆す資料を発掘したのが、自民党の戸井田とおる代議士である。

同氏は、自民党の「日本の前途と歴史教育を考える議員の会」に所属し、その中の南京問題小委員会の委員長を務めている。

「そこでは、できるだけ南京事件関連の一次資料を集めていろいろ検討している」ということになり、外務省に、当時の資料の提供を求めていたんですよ」と、戸井田代議士は語る。貴重な資料は、国立公文

なかつた。その意趣返しを記事で果たしたという思いなのでしよう。けれど、うちも品がない。『メモ』にゲスの勘繰りなどという発言を残したのは意図的です。朝日の記者が手に入れて目にするのを見越してのことなんですからねえ」

これぞゲスな争い。そう言われても仕方あるまい。

なかつた。その意趣返しを記事で果たしたという思いなのでしよう。けれど、うちも品がない。『メモ』にゲスの勘繰りなどという発言を残したのは意図的です。朝日の記者が手に入れて目にするのを見越してのことなんですからねえ」

これぞゲスな争い。そう言われても仕方あるまい。

なかつた。その意趣返しを記事で果たしたという思いなのでしよう。けれど、うちも品がない。『メモ』にゲスの勘繰りなどという発言を残したのは意図的です。朝日の記者が手に入れて目にするのを見越してのことなんですからねえ」

これぞゲスな争い。そう言われても仕方あるまい。

なかつた。その意趣返しを記事で果たしたという思いなのでしよう。けれど、うちも品がない。『メモ』にゲスの勘繰りなどという発言を残したのは意図的です。朝日の記者が手に入れて目にするのを見越してのことなんですからねえ」

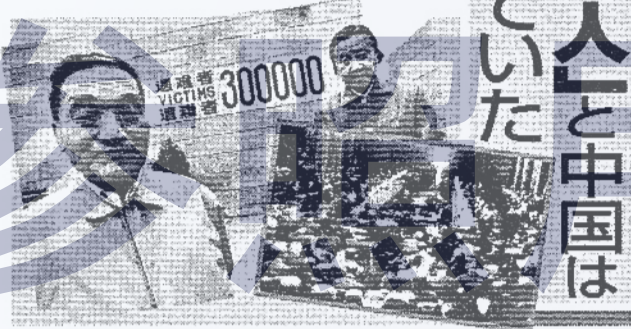
これぞゲスな争い。そう言われても仕方あるまい。

なかつた。その意趣返しを記事で果たしたという思いなのでしよう。けれど、うちも品がない。『メモ』にゲスの勘繰りなどという発言を残したのは意図的です。朝日の記者が手に入れて目にするのを見越してのことなんですからねえ」

これぞゲスな争い。そう言われても仕方あるまい。

なかつた。その意趣返しを記事で果たしたという思いなのでしよう。けれど、うちも品がない。『メモ』にゲスの勘繰りなどという発言を残したのは意図的です。朝日の記者が手に入れて目にするのを見越してのことなんですからねえ」

これぞゲスな争い。そう言われても仕方あるまい。



虐殺30万人は虚構

とは、1938年2月2日、国際連盟理事会第100回期第6会議で「支那問題に関する決議」が採択されるに際して、中国政府の顧維鈞代表が行った演説の記録。英文で書かれてある。

当時の中国政府は、日本軍の侵攻に対して、国際連盟に制裁措置を求めていた。顧維鈞代表は演説で中国の窮状を訴えているのだが、中でも注目されるのが南京事件に関する件である。

同代表はこう訴えている。「日本人兵士による南京や杭州でのこの虐殺事件についての叙述は、1938年1月28日のデイリー・テレグラフやモーニングポストに掲載されたアメリカの教授や宣教師の寄稿記事に見られるものであります。南京で虐殺された中国人民の数は、2万人と見積もられ、少女を含め、何千人もの女性が強姦された」

てきたのは戦後の東京裁判以降で、戦争中に何か公式に数字を出していたというのは確認されていないからです。そういう意味ではこの議事録にある数字は珍しい記録と言えるでしょう。恐らく当時の中国としては、国際社会に対する情報戦の一環としてこのような数字を新聞で拾って主張したのだと思います」

しかし、肝心の「支那問題に関する決議」では、南京に関する中国の主張が盛り込まれることはなかった。南京事件の研究者である阿羅健一氏は言う。

「この公的な資料で一番重要なのは、南京事件直後に中国政府が公式に虐殺者2万人という数字を出してきたことです。戦後、中国が言う南京大虐殺の被害者数はほとんど膨らんで30万人にまでなりましたが、この2万人という数字はその中で一番小さな数字であることも重要な意味を持ちます。こうした数字は時間が経てば経つほど不正確になりがちですから、この2万人というのが中国としても公式

と、1938年2月2日、国際連盟理事会第100回期第6会議で「支那問題に関する決議」が採択されるに際して、中国政府の顧維鈞代表が行った演説の記録。英文で書かれてある。

当時の中国政府は、日本軍の侵攻に対して、国際連盟に制裁措置を求めていた。顧維鈞代表は演説で中国の窮状を訴えているのだが、中でも注目されるのが南京事件に関する件である。

同代表はこう訴えている。「日本人兵士による南京や杭州でのこの虐殺事件についての叙述は、1938年1月28日のデイリー・テレグラフやモーニングポストに掲載されたアメリカの教授や宣教師の寄稿記事に見られるものであります。南京で虐殺された中国人民の数は、2万人と見積もられ、少女を含め、何千人もの女性が強姦された」

現代史家の秦郁彦氏はこう語る。「中国が公式に南京事件での虐殺者数というのを出した

「珍しい記録」

現代史家の秦郁彦氏はこう語る。

「中国が公式に南京事件での虐殺者数というのを出した

5 「海老沢側近」からも罵声 「四面楚歌」だよNHK橋本会長

に、一番正確に把握していた時に出した数字だと言え
るのではないかと

戸井田代議士も言う。

「中国では、南京大屠殺記念館の展示面積が3倍に拡

命令放送、受信料督促訴訟、個人情報流出など問題

山積のNHKだが、先日、

行われたグループ会社の集

まりでは、橋本元一会長

(63)が、海老沢勝二前会長の

元側近たちに突き上げを

くらう一幕があった。四面

楚歌である。

四面楚歌といえば、去る

2月23日、NHK元経理職

員が、橋本会長を相手に訴訟

を起した。

「NHK受信料の支払い請求

を凍結しろ、という訴えを

東京簡易裁判所に起しました」

というのは編成局元経理

担当の立花孝志氏である。

かつて自分が関与した裏金

作りを週刊誌上で告白した

張され、多くの抗日記念館が北京オリンピックを日指

して新たに建設されるなど、

海外に向けて反日運動をこ

れでもかとはかりに繰り広

げているわけですよ。30万

り中国に阿るつもりか。

それとも政府は、やっば

るのではないかと

人はウソだということ、

こうした一次資料を基に世

界に発信していく必要があ

るのではないかと

人物である。

「NHKはテレビ

を持っていて人に

公平に受信料を負

担してもらうこと

によって、公正な

放送ができること

についています。とこ

ろが、山間部など

では、1%の人が電波が届

かなくて見ることができな

い」

そこでスタートしたのが

衛星放送だった。

「しかし、1%の人のため

に始めた衛星放送なのに、

付加料金の徴収をはじめま

した。87年頃は受信料収入

は3000億円ほどでした

が、その後、受信料の値上

げや衛星の付加料金の徴収



どうも押さえが利かない

する幹部と、NHKの関連

団体トップが全国から集ま

り、会合が持たれていた。

「関連団体連絡協議会」。N

HKグループ首脳が一堂に

会す催しである。

「冒頭、NHKサービスセ

ンターの山田勝美理事長が

「この会は1時間しか設定

されていない。短すぎる」と

と発言したんですね。事務

方が、とにかく橋本会長の

話を聞いてください」とな

だめて、会はスタートし、

会長が予算、事業計画など

の説明を始めたのです」

と云うのは、NHK関係

者だが、実はこの集まり、

今年1月22日午後2時に

開かれるはずだった。とこ

ろが、当日4時間前に理由

を告げずにドタキャン。こ

の日の会合は仕切り直しだ

だったのである。

「会長の話が40分ぐらいで

終ると、NHK文化センタ

ーの山村裕義社長が、命令

放送問題を議論すべきだと

発言したんです」

続いて声を上げたのは、

NHK交響楽団の野島直樹

理事長。

「会長は勘違いしている。

全然、理解していない」

さらに諸星衛・NHKイ

ンターナショナル理事長も

声を荒らげた。

「前回のドタキャンの説明

がないというのは、どうい

うことなのか。NHKはこ

のままでは国営になるぞ。

まさに存亡の危機なんだ」

ご承知のことだが、野島

理事長も諸星理事長も、海

老沢前会長の側近中の側近

といわれた人物。罵声を浴

びせられた恰好の橋本会長

は、時間が来ると途中で逃

げるようにそそくさと会場

を後にしたが、

「あの協議会は、いわば親

睦会のようなもので、ギス

ギスしたものではありません。

関連団体、関連会社の

理事長や社長が会長に食っ

てかかるといっているのは、普通

ありえないことです」

というのはNHKのOB

で椋山女学園大学客員教授

の川崎泰資氏である。

「海老沢前会長が未だに力

を持っているということ、

しょうね。前会長の復権は

ないでしょうが、何かが起

る前触れかも知れませんが、

この会長で大丈夫か。

何かの前触れ

立花氏が訴訟を起した同日

じ日、橋本会長をはじめと